

ちちぶ定住自立圏と東京農業大学との包括連携協定の概要

1 ちちぶ定住自立圏

- 人口減少等に対応するため、生活圏が同じ市町村が協力して行政サービスを行う仕組みです。
- 秩父圏域の1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町）では、平成21年9月に「ちちぶ定住自立圏形成協定」を締結し、ちちぶ定住自立圏をスタートさせました。
- 1市4町が事業費を負担し、ちちぶ定住自立圏として事業を実施しています。
- 現在、救急医療体制の充実、滞在型観光の促進、有害鳥獣対策、地域ブランドの確立と特産品の販売促進、交流・移住促進事業等、20項目の事業を実施しています。

2 東京農業大学の社会貢献

- 地域の伝統的文化や地域の魅力を活かした社会を創生するため、東京農大の特色である「食料」、「環境」、「健康」、「エネルギー」などをキーワードに、
 - ① 教育・研究等を通じての人材育成「ひとづくり」
 - ② 環境保全・地域づくり等を通じての地域産業資源を活用する「ものづくり」
 - ③ 地域マネジメントの計画・政策等をコーディネートする「ことづくり」
- 以上、本学は創設以来、建学の精神と教育研究の理念のもと「ひと・もの・こと」を繋げて自治体、企業・団体、教育・研究機関等との地域活性化に向けた連携を深め、本学の使命「人類の幸せのため、倫理観をもって、地球に貢献する」ことを実現していきます。

3 包括連携事項

- 地域社会の形成、発展及び人材育成へ寄与することを目的として、次に掲げる5つの事項の相互連携に努めていきます。
 - ① 地域産業資源を活用した6次産業化と人材育成に関する事項
 - ② 環境保全・地域づくりに関する事項
 - ③ 教育・研究・文化振興に関する事項
 - ④ 就農・就職支援に関する事項
 - ⑤ その他、目的を達成するために必要な事項

4 連携団体

- 相互の連携活動を円滑に実施するため「連携委員会」を設置します。
 - ① 秩父圏域1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町）
 - ② 埼玉県 秩父地域振興センター
 - ③ 埼玉県 秩父農林振興センター
 - ④ 公益社団法人埼玉県農林公社
 - ⑤ 秩父広域森林組合
 - ⑥ ちちぶ農業協同組合
 - ⑦ 東京農業大学

5 今後期待される連携の方向性

- 大学の課外授業や研究等のフィールドとして秩父地域を活用することが期待されます。
- 秩父圏域でのインターンシップや就農・就職を考える大学生に積極的な支援が行えます。
- 地域課題の解決に向けて、大学からの専門的な助言及び支援が期待されます。 など